

2024 年 6 月 6 日
株式会社日立システムズ
SCSK 株式会社
トレンドマイクロ株式会社
VicOne 株式会社

自動車業界に求められる

『WP.29 Cybersecurity 対応 AWS リファレンス』を無償公開

株式会社日立システムズ（代表取締役 取締役社長：柴原 節男、本社：東京都品川区／以下、日立システムズ）、SCSK 株式会社（代表取締役 執行役員 社長：當麻 隆昭、本社：東京都江東区／以下、SCSK）、トレンドマイクロ株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：エバ・チェン、本社：東京都新宿区／以下、トレンドマイクロ）、VicOne 株式会社（最高経営責任者（CEO）マックス・チェン、東京都新宿区／以下、VicOne）は、『WP.29 Cybersecurity 対応 AWS リファレンス』（以下「本参考文書」）を 2024 年 6 月 6 日から無償で公開します。本参考文書はアマゾン ウェブ サービス（以下「AWS」）のパートナー企業が作成しました。

本参考文書の利用想定顧客は、自動車メーカーやサプライヤーなどの情報システムで AWS を活用する自動車業界の企業や関連する情報システムやサービスを開発するソリューションプロバイダーの方々です。本参考文書は、UN-R 155 Annex5 で示されている脅威リストと対応軽減策の考え方や対応について、AWS 環境上で実装するための情報を事前に整理しているため、それらの企業が構築する情報システムやサービスが WP.29 UN-R 155 に準拠しているかを判断する際の参考情報として、活用することができます。

■背景と目的について

自動車業界において、自動運転や OTA（Over the air：無線によるソフトウェアアップデート）技術の普及に伴い、サイバーセキュリティの脅威が拡大した事を受け、UNECE（国際連合欧州経済委員会）の下部組織である WP.29(自動車基準調和世界フォーラム)では、サイバーセキュリティ法規として UN-R 155（サイバーセキュリティおよびサイバーセキュリティマネジメントシステム）および UN-R 156（ソフトウェアアップデートおよびソフトウェアアップデートマネジメントシステム）を策定し、2021 年 1 月 22 日に発効しました。日本では、WP.29 UN-R 155 および UN-R 156 は段階的に適用され、2022 年 7 月からは OTA に対応した新型車への適用が開始、2024 年 7 月には継続生産車を対象に義務化が予定されています。

また、コネクテッドカーは、車両とクラウド上のシステムが密に連携して動作するため、安全な車両の走行には、WP.29 UN-R 155 に定められた安全対策基準を満たしたクラウドサービスが必要不可欠です。一方、安全対策基準の項目は多岐にわたっており、クラウドサービスおよび、クラウドサービスを活用して構築したシステムの準拠性を確認する作業が利用企業にとって大きな負荷となっています。

その負荷を低減するために、クラウドの構築やサイバーセキュリティに知見のある AWS のパートナー企業が連携して、WP.29 UN-R155 で示されている各対策の考え方への対応方法をもとに、AWS 環境上で対応するための考え方や関連する AWS の情報を整理検討し、自動車業界での AWS 利用に向けた共通資産として本参考文書を

作成し、無償で公開します。本参考文書は、幹事企業として日立システムズ、SCSK、トレンドマイクロ、VicOne が参加しました。AWS はこの活動の事務局として関与しています。

■本参考文書の概要

本参考文書は、WP.29 UN-R 155 基準を考慮したものであり、AWS の対応内容と参照先の情報を提供する事で自動車関連企業における WP.29 UN-R155 への対応や準拠性の確認にかかる負荷の低減を支援します*1。

具体的には、WP.29 UN-R155 対応において確認が必要となる 24 の緩和策等の法規内容、それに対応する 240 個以上の AWS サービスの調査・確認にかかる負荷を軽減できます（※図 1、図 2 参照）。

*1 本リファレンスは WP.29 UNR-155 に準拠することを保証するものではありません。

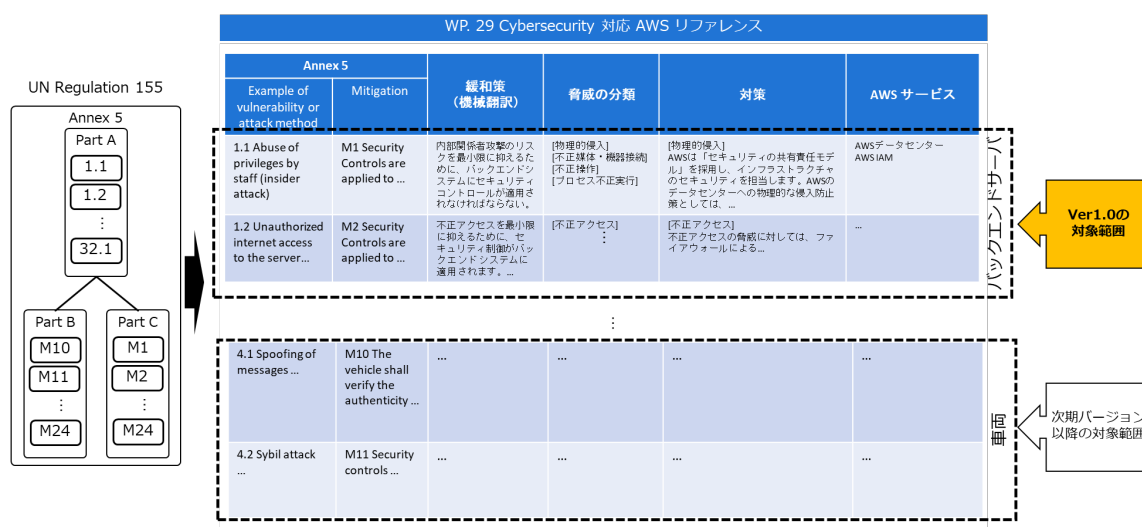


図 1 「WP.29 Cybersecurity 対応 AWS リファレンス」の構成

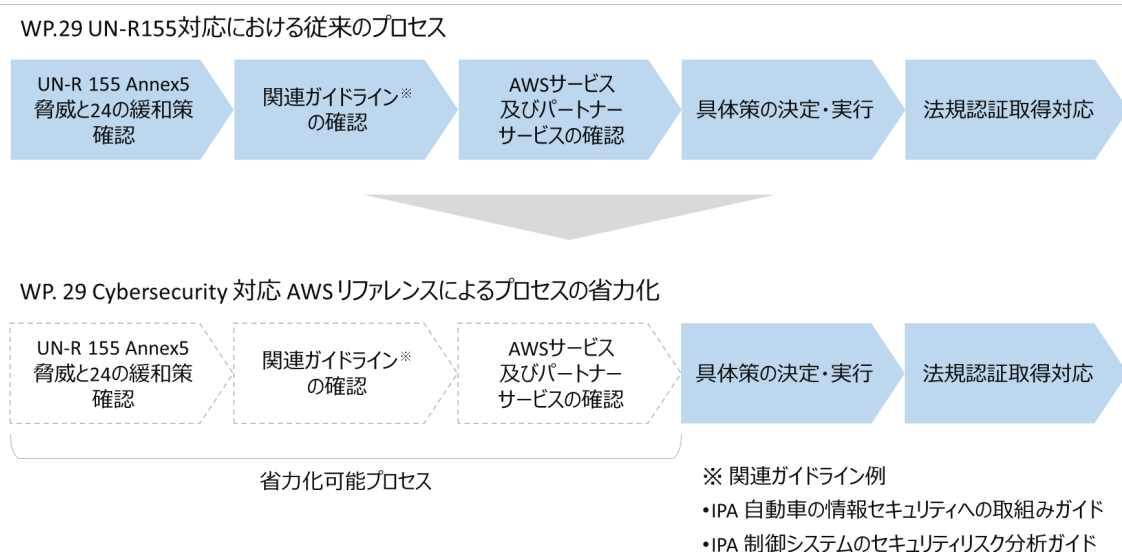


図 2 「WP.29 Cybersecurity 対応 AWS リファレンス」参照による効果

■本参考文書の入手方法

下記の URL からダウンロードできます。

<https://www.hitachi-systems.com/sp/iot/wp29aws-reference/index.html>

■今後の活動について

本参考文書について、利用される企業や関係企業からのフィードバックを収集します。ご意見やご要望を取り入れ、最新の規制要件を考慮しながら改良しアップデートしていきます。この活動に積極的に参加し、共有資産の高精度化を共に推進くださるパートナーを募集します。また、今後も本参考文書の提供にとどまらず、自動車業界でのクラウドやコネクティッドの活用拡大に向けて支援していきます。

■日立システムズについて

日立システムズは、強みであるさまざまな業種の課題解決で培ってきたお客さまの業務知識やノウハウを持つ人材が、日立グループ各社やビジネスパートナーと連携し、Lumada 事業を中心に展開することにより、お客さまのデジタル変革を徹底的にサポート。日立グループのサステナビリティ戦略の下、環境・社会・企業統治（ガバナンス）を考慮した経営を推進することで、国連が定める持続可能な開発目標 SDGs の課題解決に向けた価値を創出し、企業理念に掲げる「真に豊かな社会の実現に貢献」してまいります。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

■SCSKについて

SCSK株式会社は、コンサルティングから、システム開発、検証サービス、IT インフラ構築、IT マネジメント、IT ハード・ソフト販売、BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）まで、ビジネスに必要なすべての IT サービスをフルラインアップで提供しています。また、IT を軸としたお客様や社会との共創による、さまざまな業種・業界や社会の課題解決にむけた新たな挑戦に取り組んでいます。

詳細は <https://www.scsk.jp/> をご覧ください。

■トレンドマイクロについて

トレンドマイクロは「デジタルインフォメーションを安全に交換できる世界の実現」をビジョンに掲げ、設立以来 30 年以上に渡り、一貫してサイバーセキュリティ分野に従事しています。

詳細は https://www.trendmicro.com/ja_jp/business.html をご覧ください。

■VicOne について

VicOne は、明日の自動車を守ることをビジョンに掲げ、自動車業界向けにサイバーセキュリティソフトウェアとサービスの幅広いポートフォリオを提供しています。VicOne のソリューションは、自動車の安全性と拡張性を確保し、自動車メーカーを支援します。

詳細は <https://vicone.com/jp/company> をご覧ください。

■アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 執行役員 パートナーアライアンス統括本部 統括本部長 渡邊宗行 様のコメント

アマゾン ウェブ サービス ジャパンは「WP. 29 Cybersecurity 対応 AWS リファレンス」を発表した事を歓迎します。お客様は、同リファレンスを参考にすることで、コネクティッド・自動運転など複雑なモビリティシステムを、より安全な環境で、円滑に構築することができるようになって考えています。同リファレンスを活用するお客様のクラウド活用が促進し、デジタルトランスフォーメーションが加速することを期待しています。

■お客さまからのお問い合わせ先

株式会社日立システムズ お問い合わせ Web フォーム

<https://www.hitachi-systems.com/form/contactus.html>

以上

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

*2024 年 6 月 6 日現在の情報をもとに作成したものです。今後、内容の全部もしくは一部に変更が生じる可能性があります。